

## 会 議 要 旨

会 議 名	令和3年度第3回 館山市地域公共交通会議
開 催 日	令和4年3月22日(火)午後1時30分～午後2時55分
開 催 場 所	館山市コミュニティセンター 1階展示ホール
出 席 者	[委 員]合計22名(欠席 8名) 別紙一覧表のとおり [館山市]合計4名(総合政策部長・企画課副課長・同係員)
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	3名(定員10名)
議 事	<p><b>【議 事】</b></p> <p>(1) 令和2年度・3年度 館山市地域公共交通網形成計画の事業評価について (協議事項)</p> <p>(2) 令和3年度市街地循環バス実証運行の結果について(報告事項)</p> <p>(3) 第2回会議(書面開催)の結果報告(令和4年度市街地循環バス運行計画)について(報告事項)</p> <p>(4) 神戸地区等買い物シャトルサービス(南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業)の利用状況等について(報告事項)</p> <p>(5) 令和4年度館山市公共交通事業計画案について(報告事項)</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>・出席委員からの情報提供等</p>
会 議 内 容	<p><b>開会</b></p> <p>第1回会議の後、新たに就任した委員の紹介</p> <p>会長あいさつ</p> <p><b>議事</b></p> <p>(1) 令和2年度・3年度 館山市地域公共交通網形成計画の事業評価について (協議事項)</p> <p>・事務局から配布した「資料1-1～1-3」を用い、計画に定めた目標値の達成状況や各事業の取組状況等について、主に以下の内容等を説明し審議した。 交通事業者や地域の皆様の協力をいただきながら事業を推進している。 事務局としては、計画の進捗は概ね順調に進んでいると捉えている。 目標値のうち、路線バスの利用者数については、コロナの影響による減(おおむね2割程度と言われている)平成27年度から令和2年度にかけての人口減少率(約5%)を考慮に入れてもなお減少幅が大きい。そのため、今後も利用促進策などを検討する必要がある。</p> <p><b>【質疑・意見等】</b></p> <p>・特になし。今後も引き続き計画事業を推進するということでした。</p>

**(2) 令和3年度市街地循環バス実証運行の結果について(報告事項)**

- ・事務局から配布した「資料2」を用い、令和3年度の市街地循環バス実証運行の結果について、利用者数や利用動向、アンケートの結果等について報告した。

**【質疑・意見等】**

- ・特になし。

**(3) 第2回会議(書面開催)の結果報告(令和4年度市街地循環バス運行計画)について(報告事項)**

- ・「資料3」を用い、事務局から前回会議(書面)の結果及びいただいたご意見のうち「運賃額について」と「本格運行実現に際しての指標設定」に関するものを取り上げ、市側の考え方や対応方針について報告した。

**【質疑・意見等】**

**(室委員)**

- ・今後のことを考えると、今回の実証で100円にすることによりかなりの不安を覚えている。議事(2)で説明されたアンケート結果を見ても、200円が適当または安いという回答が多かった。これを100円にしたことで、利用者が2倍に増える、人数が増えるかということ、それほど増えないかなと考える。
- ・例えば西岬からだ、確かに運賃が高くなるが、乗り継ぎの割引を設定する形態(例えば、通常は200円だが乗り継ぎの場合は100円にするなど)の方がお得感が出て乗りやすいかなと思った。
- ・今回100円でやるということだが、本格運行時は200円となると抵抗があるかなと考える。
- ・ただ、目標値を設定しないということは、基本的には本格運行を実施するという方向性で、今回の実証は最良の形態を検証するためのものだと捉えている。利用者にその辺の事情を周知するのにもなかなか大変だと思うが、丁寧に説明して、利用者数が増えることを願う。

**(事務局)**

- ・ご指摘の通りという部分もあり、実は市の中でも200円を継続するか、100円とするか、意見が分かれたところ。
- ・議論をする中で、これまで100円という設定で運行したことがないため、100円にしたうえで利用状況を見てみたいという結論に至った。

**(総合政策部長)**

- ・利用者アンケートの男女比を見ても、女性が圧倒的に多く、まだまだ需要の掘り起こしができていないと感じている。
- ・実証実験中ということもあり、一度100円でやらせていただければと考えている。
- ・繰り返しになるが、市としては循環バスを社会インフラであり、必要な移動手段であると捉えている。令和4年度に実証を行い、これまで実施できていなかった夏の一番暑い時期の利用状況等も把握したいと考えている。また、通年の運行で乗車率が上がればとも考えているので、ご理解をお願いしたい。

**(鈴木会長)**

- ・次年度実証運行のルートや本数は「資料3別紙1、別紙2」に記載してあるが、

ご覧いただいたとおり、本数は6本に減らし、北エリアの運行とするなど、これまで2回の実証運行の結果を受けて見直している。

- ・本格運行に向けての利便性と持続可能性を考慮し、異例となる3回目の実証運行を1年かけて実施する。
- ・この機会に、ご意見やご質問をいただければと思う。

(本間委員)

- ・アンケート結果で、積極的に今後利用するとした人が1,265人おり、賛同している方が多くいらっしゃるなど思ったのと同時に、利用目的のほとんどが買い物で、1,132人いる。
- ・買い物は生活するうえで必要なため習慣化していると考えられるが、1回1回支払いするのは面倒。
- ・毎週利用する方もいると思うので、例えば週3回以上利用すると割安になるといった形で、年間プランとか年間パスのようなものがあったらいいのかなと感じた。
- ・1,300人の方が年間1万円のパスを買っていただければ、最初に1,300万円の収入が入ることになる。是非検討していただきたい。

(事務局)

- ・今回の実証運行では、100円といういわば最低ラインの運賃設定にさせていただいたが、その中でも1回1回支払うのが手間という方がいらっしゃる。
- ・例えばパス券のようなもの、また回数券を販売してほしいという要望をこれまで2回の実証運行でも比較的多くいただいている。
- ・100円から更に割引を行うのかという議論はあるかもしれないが、利用促進につなげるため、パス券や回数券といった施策は検討していきたいと考えている。

(鈴木会長)

- ・事務局から社会インフラの一つといった考えもあるという話があったが、利用しなくても年間パスポートに出資だけする、お金だけ払うといった仕組みを本格運行のタイミング等で導入できれば非常に面白い、ユニークな施策になると感じる。

(黒川委員)

- ・年間パスポートの考え方は良いと感じた。
- ・高齢者の方が免許返納を行うにあたり、その際に返納した恩恵として運賃が少し安くなったり、年間パスポートのようなものを進呈するなどの施策を導入できると、その方は安心してバスを利用できると思う。
- ・便数をもっと増やしてもらえれば、高齢者は今以上に自分のリズムに合わせて利用できるようになると思う。

(事務局)

- ・過去2回の実証運行では、バス事業者が免許返納者向けに発行している「ノーカーサポート優待証」の提示で運賃を100円引きにする施策を導入していた。ただ、もう少し分かりやすくする必要はある点などはご指摘のとおりだと思うので、免許返納者向けのメリットについては検討を重ねていきたい。
- ・差し当たり、来年度の実証運行については、100円の運賃設定とするため、ノ

ーカーサポート優待証提示割引は行わない予定である。

- ・本数については、今回は最低限のところで作らせていただくことになる。スムーズスタートを始め、利用状況を見ながら、便数増や運行エリア拡大といったことに取り組んでいきたいと考えているので、ご理解をお願いしたい。

(鈴木会長)

- ・免許返納者向けに5,000円相当のタクシー券やバス回数券を配布する取組を市で行っている。そのメニューの一つとして、事務局から担当課に提案してもらいたい。

(鈴木委員)

- ・アンケート集計結果を聞いて感じたことをいくつか述べさせていただく。
- ・次年度の実証運行ではコメリの方(南エリア)は回らないということになるわけだが、利用目的を見ると買い物が53%と多い。買い物後は、買った荷物を持ち運ぶことになるが、量・重さが出てくる。その辺が課題になってくるのではないかなと思っている。
- ・例えば、買い物したものを100m持ち運ぶだけでも結構大変。
- ・老人カーに荷物を入れて買い物するとなればノンステップバスが一番乗りやすいということになる。
- ・イオンやカインズの利用が多いということだが、たくさん買い物をしようと思っても持てる量はどうしても限られてしまう。ニーズに合わせることは難しいが、買い物後の荷物持ち運びの問題についても改善が必要と考える。
- ・手で持てる量が限られるので、週に何回か利用することもあると思う。そのため、決して100円にこだわるわけではないが、運賃を少し安くするか、先程話題になった年間パスポートのようなものを有効に使えればなと思う。
- ・本当に利便性の高い仕組みになれば、免許返納しようかなという意識になってくると思うので、使いやすい循環バスを追求しなければならないと考えている。アンケートの結果等を参考にしながら前に進めていただきたい。

(事務局)

- ・買い物した後の荷物の問題については、この後説明する神戸地区等買い物シャトルサービスや富崎ぐるっとバスの実証運行でも課題になっている。
- ・自宅が駐車場所からすぐでも、坂があるため荷物を持ったままではたどり着くことができないといった事例は承知しているものの、循環バスの運行の中で一人一人の要望に応えることは難しい部分がある。
- ・ご指摘の通り、大きな課題の一つになってくると思うので、改善の検討を行いたい。
- ・バス券や回数券については、本間委員への回答のとおり、導入を検討している。

(鈴木会長)

- ・バス停表示や時刻表のデザインを千葉工業大学の学生に行ってもらったが、事務局としてどのように評価しているのか。
- ・次年度の実証運行においても、学生にデザインの協力はしてもらえるのか。

(事務局)

- ・次年度についても、協力しますという連絡を学生からもらっている。
- ・評価については、見やすさや分かりやすさという点でも大変良かったと考えて

いる。令和2年度実証運行の際は、市の中でデザインに長けた者に協力してもらったが、プロに作ってもらったものは違うと感じている。

**(4) 神戸地区等買い物シャトルサービス(南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業)の利用状況等について(報告事項)**

- ・「資料4」を用い、神戸地区等買い物シャトルサービスの利用状況等を説明。
- ・資料の内容に加え、業務委託料(705,000円)に対する収入カバー率が10%程度に達しており、比較的効率的な運行形態となったことを補足説明した。

**【質疑・意見等】**

- ・特になし。

**(5) 令和4年度館山市公共交通事業計画案について(報告事項)**

- ・「資料5」を用い、令和4年度の公共交通事業計画案について説明。
- ・市街地循環バス実証運行のほか、三芳地区及び館山市内の一部を中心としたAIデマンド交通の実証運行や豊房線エリアを中心とした買い物シャトルサービス実証運行(南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業)、富崎ぐるっとバス実証運行に対する支援を行うことを報告した。

**【質疑・意見等】**

- ・特になし。

**その他**

委員から以下のとおり情報提供があった。

**廉谷委員(JR館山駅)**

- ・先日発生した東北地方を中心とする地震については、ニュース等既にご覧になっているかと思うが、東北新幹線が現在も一部区間で運休している状況である。
- ・今日、新しい情報として橋脚にひびが入っている箇所が新しく見つかった等が入ってきており、運転再開までは相当時間がかかると考えている。
- ・また、在来線についても、橋脚の一部が欠けているというような報道がされているが、こちらも現在点検を行っているという状況。
- ・早期再開に向けて努力しているので、ご理解をお願いしたい。
- ・春休みになると、旅行をはじめ、転勤や進学等で移動される方が大勢いらっしゃるかと思うので、1日も早く復旧できるよう努めていく所存である。
- ・館山エリアでは、昨日まん延防止措置が解除されたところだが、先週末からの3連休においては、徐々にではあるが確実にお客様の数が増えてきている。
- ・家族連れのほか、春休みシーズンに入ったからか、研修等で来ていると思われる学生の団体など、去年は見受けられなかった人の動きも出てきている。徐々に徐々に人の動きが復活してきているように感じている。
- ・館山エリアの路線に関しては、地震による影響は特段なかったので報告する。

**○竜崎委員(ジェイアールバス関東館山支店)**

- ・館山駅長からも話があった東北地方での地震について、東北新幹線が不通になっている関係で、当社でも東京～仙台間で新幹線の代行輸送をしている。東北本線についても、東北エリアの支店で列車代行を実施しており、会社を挙げて親会社であるJR東日本を支援し、移動手段を提供している状況である。

- ・一方、なのはな号については、3月18日から、今まで減便していた部分を3往復復活させた。
- ・昨年、7月20日に大規模なダイヤ改正を行い、東京駅行き、バスタ新宿行きを合わせ32往復に改正したところだが、コロナの関係で減便を続けている。18日現在、合計で27往復運行している状況。
- ・3月に入り、徐々にだがご利用が回復してきており、特に週末は1便平均20名近いご利用もある状況になっている。
- ・先日の3連休においても、多くの利用者がいらして、鉄道の方も少しずつご利用が戻ってきてるという説明があったが、高速バスについても少しずつ戻ってきてるかなと捉えている。
- ・しかしながら、コロナ前（2年前）を思えばまだまだ全然及んでおらず、約6割程度までしか回復してきていない状況である。
- ・また、一般路線バスについては、だいたい7割から8割程度ぐらまでしか回復していない状況。
- ・洲の崎線については、来月の5日からダイヤ改正を実施する。
- ・昨年度、南房総パラダイスから、相の浜まで延伸し、当初2往復から始め、その後5往復運行していたが、ご利用が少ないため、来月5日からは3往復に減便する。
- ・まだまだ通常期の利用者数には戻ってきていないと考えている。
- ・当社も経営状況が厳しいところはあるものの、各地域で大切な移動手段としてバスを利用していただく方もいる。精一杯努力しながら、継続していかねばならないと考えている。引き続きよろしくお願ひしたい。

#### **高橋委員（日東交通）**

- ・バス利用者の減少が続き、相変わらず厳しい状況となっている。
- ・昨年末はコロナの感染者数が減少し、バスの利用者数は増加傾向で、高速バスは平常時の7割から8割程度にまで回復していたが、1月にまん延防止措置が発出されてからは、また利用者が減少してしまい、先ほど竜崎支店長の発言にもあったとおり、だいたい5割から6割程度で推移している。
- ・会社経営的にも大変厳しい状況となっており、皆様方には大変ご迷惑をおかけしているかと思うが、車両更新等の設備投資もなかなかできていない状況である。
- ・当社では各種支援金の活用、助成等を受けながら、路線バスや高速バスの維持に努めていく所存である。
- ・引き続き新型コロナの感染予防や安全なバス輸送の提供に努めていくので、皆様のご協力、ご理解をお願いしたい。

#### **平野副会長（鏡浦自動車）**

- ・タクシー事業者で、観光庁の補助事業を活用した取組として、「南房総タクシー旅プラン」の実証を行ったので報告する。
- ・今回の事業目的は、道路整備が進んだことにより、観光客のほとんどが自家用車での日帰りとなってしまい、道路渋滞も多く発生している中、公共交通を利用して誘客を行っても、地域内の二次交通が弱く地域全体の観光周遊ができないため、

行く場所が絞られてしまい長く滞在してもらえないという課題を解決するためのものである。

- ・課題を解決するため、タクシーを使い、割安な料金で観光地を回遊する実証実験を行った。
- ・実施期間は令和4年1月15日から2月28日の45日間で、地域のグルメ体験や歴史体験などを中心に、本地域を巡る21のコースを設定し、館山市、南房総市、鴨川市内に宿泊いただいたお客様には1,000円、日帰りのお客様には3,000円で、サービスを提供。
- ・営業区域内のタクシー事業者6社にて、限定200台で行った。
- ・実施期間中にまん延防止重点措置が適用されたため、感染防止対策の最新の注意を払いながら行った。
- ・稼働数については、宿泊利用が182台、日帰り利用が18台で、目標台数台数の200台を達成することができた。
- ・現地までの交通手段を聞いたところ、鉄道が65%、高速バスが25%、その他が10%であり、多くの方が公共交通を利用して来ていた。
- ・また、宿泊施設や観光施設からは、今回の実験によって増客につながったというご意見をいただいた。
- ・お客様からも、二次交通として大変便利だと好評をいただいた。
- ・利用者アンケートの結果を見ると、「効率よく周遊観光ができた」「ドライバーから地元ならではの話が聞くことができた」など、大変好評いただいていることが分かった。
- ・今後このようなプランが行われたら南房総に訪れるきっかけになるという回答が多数を占め、今後も同様の企画を実施してもらいたいという要望も多くいただいた。
- ・タクシー事業者はまん延防止措置の期間中、観光はもとより、市民の方のご利用も大幅に減少しており、特に夜間業務がほとんどない状況だったが、実証実験により、運転者も奮起して取り組んでもらったと感じている。
- ・この事業を通して、二次交通の充実を図るためのきっかけになったと自分自身も感じている。
- ・実証結果を参考に、今後地域の観光資源を活用したタクシー企画に取り組んでいきたいと考えている。

#### 【事務局から】

- ・会議要旨についてはまとまり次第送付するので、内容確認をお願いしたい。
- ・次回会議の日時は未定。決まり次第ご連絡させていただく。

閉会